



さくらまつり



たけのこ公園



小平第十四小学校

笑顔も咲いた 小平の春

平成30年3月定例会は、2月26日から3月27日までの30日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成30年度の各会計予算など市長提出議案22件を可決・同意しました。議員提出議案は、筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書1件を可決しました。

また、2月27日には5つの会派から13件の代表質問があり、その後2月28日から3日間にわたり、24人の議員から56件の一般質問がありました。

3月定例会

平成30年度各会計予算を可決

～一般会計予算は649億4千5百万円に～

議会を傍聴  
しませんか?

今後の

市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

傍聴される方は、  
議会事務局へ  
お越しください。

- 5月22日(火) 総務委員会  
請願・陳情締め切り(午前中)(※1)
- 5月23日(水) 生活文教委員会
- 5月24日(木) 厚生委員会(※2)
- 5月25日(金) 環境建設委員会
- 5月31日(木) 議会運営委員会(※3)
- 6月 5日(火) 6月定例会本会議(初日)
- 6月 6日(水) 6月定例会本会議(一般質問)
- 6月 7日(木) 6月定例会本会議(一般質問)

- 6月 8日(金) 6月定例会本会議(一般質問)
- 6月12日(火) 総務委員会
- 6月13日(水) 生活文教委員会
- 6月14日(木) 厚生委員会  
請願・陳情締め切り(午前中)(※4)
- 6月15日(金) 環境建設委員会
- 6月18日(月) 広聴広報特別委員会
- 6月19日(火) 都市基盤整備調査特別委員会
- 6月20日(水) 公共施設マネジメント調査特別委員会

- 6月25日(月) 議会運営委員会(※3)
  - 6月28日(木) 6月定例会本会議(最終日)  
広聴広報特別委員会(※3)
  - 7月17日(火) 広聴広報特別委員会
- (※1) 6月定例会初日日程の受け付け期限です。  
 (※2) 当日は、現地視察を予定しています。委員会の再開時間等につきましては、議会事務局にお問い合わせください。  
 (※3) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。  
 (※4) 6月定例会最終日日程の受け付け期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

### 平成30年度 一般会計予算。 各特別会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計及び特別会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月6日から8日までの3日間、特別会計は3月9日に審査が行われました。

定例会最終日には、山岸真知子一般会計予算特別委員長と小林洋子特別会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計及び国民健康保険事業特別会計を賛成多数で、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業特別会計を全会一致で可決しました。(8面に「議案に対する各議員の賛否」を掲載)

市長の提案説明の概要は以下のとおりです。

【一般会計】

予算総額は6百49億4千5百万円で、前年度の第2号補正、いわゆる肉づけ予算後に比べ、4.9%、30億2千7百万円の増となっております。支援が必要な人

に手を差し伸べ光を当てるソフト

【国民健康保険事業特別会計】

予算総額は70億6千6百万円で、前年度当初予算に比べ15.3%、30億8千9百万円の減となっております。平成30年度から都道府県が運営に加わり財政運営の中心的な役割を担うこととなり、市では資格管理、保険給付、保険料率の決定、保健事業等、地域におけるきめ細かい事務を引き続き担います。

【介護保険事業特別会計】

予算総額は1億4千4百万円の減額5千3百円としています。

【下水道事業特別会計】

予算総額は38億6千6百万円で、前年度当初予算に比べ7.3%、3億5百万円の減となっております。

【歳入】

前年度に比べ、下水道使用料は0.9%、1千9百万円の減、一般会計繰入金金は15.5%、1億8千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】

主な事業として、浸水対策、施設の老朽化対策、地震対策等を実施します。

ト施策の実施とともに、公共施設更新等のハード事業にも注力した積極的な予算としています。

【後期高齢者医療特別会計】

予算総額は42億2百万円で、前年度当初予算に比べ3.4%、1億3千9百万円の増となっております。

【歳入】

保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。

【歳出】

広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費などを計上しています。

後期高齢者医療の被保険者数は前年度に比べ、600人増の2万2千3百人を見込んでいます。

【介護保険事業特別会計】

予算総額は1億4千4百万円の減額5千3百円としています。

【歳入】

保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計繰入金等を計上しました。

第1号被保険者の保険料を改定し、平成30年度から3年間の保険料基準額を200円引き上げ、月額5千3百円としています。

【歳出】

保険給付費を1.4%、約1億6千9百万円の減で見込んでいます。

【下水道事業特別会計】

予算総額は38億6千6百万円で、前年度当初予算に比べ7.3%、3億5百万円の減となっております。

【歳入】

前年度に比べ、下水道使用料は0.9%、1千9百万円の減、一般会計繰入金金は15.5%、1億8千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】

主な事業として、浸水対策、施設の老朽化対策、地震対策等を実施します。

## 平成30年度予算総額

(単位:千円、%)				
	30年度 予算額	29年度 予算額	伸び 率	
一般会計	64,945,000	61,918,291	※ 4.9	
特別会計	国民健康 保険事業	17,061,000	20,150,000	△15.3
	後期高齢 者医療	4,202,000	4,063,000	3.4
	介護保 険事業	13,048,000	13,177,000	△1.0
	下水 道事業	3,866,000	4,171,000	△7.3
合計	103,122,000	103,479,291	△0.3	

※平成29年度一般会計予算額は、当初予算額608億9,700万円に補正予算(第2号)の10億2,129万1,000円を加えた額

## 一般会計予算に対する 各会派の討論(要旨)

### 賛成 市議会公明党

会派要望に沿った一定の事業展開がなされている

賛成の理由を以下に述べる。①災害への備えとしてマンホールトイレの整備等が前進した。②切れ目のない子育て支援策として認可外保育園の補助策等が拡大された。③女性活躍社会の下支えとしての市内事業者への働きかけなどを評価する。意見として、健康寿命延伸策等のさらなる工夫を求める。地域包括ケアシス

### 賛成 フォーラム小平

攻めと守りのバランスのとれた積極的な予算と評価

賛成の理由を以下に述べる。①保育園運営等の働く世代を応援する施策と駅前再開発事業への取り組みは、人口及び税収増につながる攻めの予算である。また、公債費の減等、守りも考えた予算であると評価する。②学童クラブ新設等ハード面の子育て環境整備、学習支援の拡充等ソフト面の充実等を評価する。③家庭こ

### 賛成 和会

市街地再開発事業の具体化等に一定の評価

賛成の理由を以下に述べる。①施政方針においてサービスの量から質に転換する方向性が示されたことは、少子高齢化により予想される税収減少等のもとでは到底量と質の両方は賄えないため、大変重要なことと考える。②母子世帯等、支援が必要な人に手を差し伸べる施策が不十分ながら計上されていることは評価でき

### 賛成 日本共産党小平市議団

福祉の切れ目のない支援体制への努力等を評価

主な賛成理由を以下に述べる。①小規模保育園開設、学童クラブ増設で定員増が盛り込まれた。②児童発達支援センター設置の準備が始まることを評価する。③防災行政無線のデジタル化等、市民の安全と防災対策の拡充に努力が図られた。④産業振興基本計画に基づき事業の着実な実施に期待する。⑤新入学学用品費の前倒し支給や

### 賛成 生活者ネットワーク

市民の将来に重要な計画の費用が計上されている

賛成の理由を以下に述べる。①抑制的な予算措置とともに子ども育ちなどに不可欠な分野の歳出を確保しており健全な財政運営と考える。②児童館開館日の増など人に着目した施策の実施を評価する。③空き家等対策計画等、市民の将来に重要な計画の費用が計上されている。家庭ごみの有料化では市民への丁寧な周知等を求める。以上を申し添え、賛成討論とする。

### 反対 緑の党こだいら

家庭ごみ有料化をめぐる市民参加の問題等を指摘

反対の理由を以下に述べる。①空き家の利活用を打ち出すべきである。②どのような基準で補助金を見直しているのかが見えない。③受益者負担見直しは公募市民を交え検討すべきである。④元号表記の見直しでは十分な検討が必要である。⑤市管理職の女性比率の目標を達成できそうにないことを深刻に受けとめるべきである。⑥

### 反対 ムサシ

補助金改革の姿勢が見えないことなどを指摘

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

地域開放型体育館新築工事の債務負担行為設定は、詳細不明の予算を認めるに等しく議会の同意の既成事実化である。④家庭ごみ有料化に関して、市民への周知が現段階で不十分である。また、条例が上程されないうちに関係予算案を認めることは、議会のチェック機能の放棄であり市民への裏切り行為である。以上、反対討論とする。

# その他の主な議案

## 平成29年度一般会計 補正予算(第6号)

本補正予算は、平成29年度の終盤に当たる補正予算として、歳入、歳出ともに過不足の調整、計数の整理等を行い、今回の補正に伴う余剰財源を活用し基金残高の回復を図ることが主な内容です。

予算規模としては歳入歳出をそれぞれ3億2千8百28万3千円減額し、総額を6百32億6千9百62万8千円とします。

主な財源構成として、税運動交付金について今後の交付見込みをもとに増額するほか、事業費の増減に伴い、国及び都支出金並びに市債を補正するとともに、資源回収品の売り払い、湖南衛生組合の土地の処分に伴う組織市への配当金及び寄附金等を増額します。

今回の補正に伴い確保される財源は、平成30年度の当初予算を見据えて、財政調整基金等の基金残高の回復に活用します。

付金の仕組みを導入する平成30年度国民健康保険制度改革に伴う対応を行うとともに、平成30年度分の国民健康保険税から適用する税率の改定を行うため改定するものです。

主な内容は、市が徴収した国民健康保険税を国民健康保険事業費納付金の納付に充てるよう改定するものです。また、税率の改定では、医療保険分、後期

高齢者支援金及び介護保険分について、所得割額及び均等割額の税率をそれぞれ改定するものです。

施行期日は、平成30年4月1日です。

## 議会人事

東京都十一市競輪事業組合議会議員・東京都四市競艇事業組合議会議員

小野 高一議員  
津本 裕子議員

## 特別委員会中間報告

3月定例会初日に各委員長から報告した特別委員会の経過の概要は次のとおりです。

### 広聴広報特別委員会 (中間報告その3) 委員長 永田 政弘

開催日 平成29年6月6日  
平成30年1月17日(合計5回)

○主な内容  
・小川駅西口地区再開発事業の進捗状況について  
・近隣市視察(府中市)  
・小平駅北口地区再開発事業の進捗状況について 外

### 公共施設マネジメント 調査特別委員会 委員長 平野ひろみ

開催日 平成29年6月6日  
平成30年1月18日(合計5回)

○主な内容  
・小平市公共施設マネジメント推進計画について  
・平成29年度の小平市公共施設マネジメントの取り組み内容について(その1)  
・近隣市視察(習志野市) 外

### 都市基盤整備 調査特別委員会 委員長 幸田 昌之

開催日 平成29年6月6日に設置されて以来、付議事項について調査を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

### 国民健康保険条例の 一部を改正する条例

本条例は、都道府県単位の財政運営として、国民健康保険事業費納付金及び保険給付費等交

# 代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。

本市議会では、年に1回、3月定例会2日目に行っています。質問時間は会派の所属議員数に応じて決まっており、市長または教育長が答弁します。

今回は、5会派から13件の質問があり、紙面にはその答弁の要旨を掲載しました。

## 市議会公明党 幸田昌之議員

東京一活カあふれるまち  
こだいらを目指して

議員 2025年問題を踏まえ地域包括ケアシステム構築への取り組みをどう進めていくのか。

市長 地域で活動する人材の育成を進めていくが、地域や関係機関、行政等が丸となり取り組みることが大切と考えている。

東京一子育てしたいまち  
こだいらを目指して

議員 子どもたちの居場所となる児童館・子ども広場も小学校区単位で設置すべきだが見解は。

市長 財政面での課題、将来の人口推移、公共移設マネジメントの考え方を踏まえ、どう工夫できるか引き続き研究していく。

東京一美しいまち  
こだいらを目指して

議員 市のグランドデザインをより明確にして市の魅力を内外へアピールすべきだが見解は。

市長 次期長期総合計画の中で、新しい時代の局面を見据えた新たな将来都市像を示さなければならぬと考えている。

教育改革への挑戦、新しい教育の実現のために

議員 国や都の支援策を活用しチーム学校を構築し、いじめ、

## 政和会 宮寺賢一議員

社会の変化と最適な予算配分のあり方について

議員 平成30年度予算編成上、工夫した点は。

市長 新規事業等でスクラップアンドビルドを求めたほか、経常経費にマイナスイリテグを設定し歳出抑制を図るなどした。

施政方針と次期長期総合計画等について

議員 次期長期総合計画の将来都市像をどう描いているか。

市長 都市の利便性と緑等が多く残るくろぎ空間という両面を持つプチ田舎としての魅力に磨きをかけることを考えている。

市職員の働き方改革を進めるには

議員 平成30年度予算案で働き方改革に関連する施策として市長が措置したものはあるか。

市長 新たに措置した施策はないが業務量に応じた適正な人員配置等を行っている。女性活躍に

## 生活者ネットワーク かつ悦子議員

将来を見据えたまちづくりについて

議員 ①将来を見据えたまちづくりについてのビジョンは。

②プチ田舎を実現するため緑のグランドデザインを策定する必要があるが見解は。

市長 ①人口減少時代に適応した次なる豊かさを目指した取り組みを進めることで、市民一人一人が地域で役割を持ちその能力が生かされる町を目指したい。

②みどりの基本計画2010の中で地区別計画を作成しており、これに基づき現在の緑被率を維持する取り組みを進めていく。

市職員の働き方改革のた

議員 学校での働き方改革のための環境整備に関する方策は。

教育長 夏期休業期間中に学校閉庁日を設定し、休暇取得促進を図るなど、教員の業務負担の軽減に取り組んでいく。

## フォーラム小平 小林洋子議員

平成30年度予算編成の考え方と市政運営について

議員 ①東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成について子どもだけでなく学生や大人も盛り上げていく取り組みは。

②家庭ごみ有料化と戸別収集への移行実施計画をどのように進め市民理解を深めていくのか。

市長 ①引き続きスポーツボランティアの発掘・育成事業を行うほか、市報のオリパラ特集号発行等で機運醸成を図っていく。

②今後も出前講座等を積極的に行っていくほか、平成30年度はごみの出し方等についての市民説明会を開催し、丁寧かつきめ細やかに市民に説明していく。

小平市の教育への取り組みについて

議員 ①小・中連携教育に対する取り組みは。

②不登校に対する取り組みは。

## 日本共産党小平市議団 吉瀬恵美子議員

平成30年度(2018年度)予算編成における方針を問う

議員 ①国民の格差と貧困が広がる中で、市民の置かれた状況をどのように認識しているか。

②生活保護基準引き下げに連動し市民が影響を受ける項目は。

③家庭ごみ有料化と戸別収集は5千万円程赤字になると聞いていますが、事業費見込みは。また、赤字になってもやる理由は。市長 ①高齢化等が進み社会状況が変化の中で、ひきこもりや介護と育児のダブルケアなど、複雑化、多様化した課題が生じてきていると受けとめている。

②生活扶助基準の見直し内容が不明であり、把握は困難だが、

関する研修等を引き続き行い働き方改革実現に取り組んでいく。

新年度予算は教員の勤務実態と教育への情熱にどう対応したか

議員 学校での働き方改革のた

市長 ①市民共同発電所の取り組みを市民や事業者等と一体となつて進めるなどしていく。また、講座開催等により市民の認識と理解が深まるよう取り組んでいく。

②市内でつくり出した電力を市内に供給し経済的に循環させるには課題も多い。今後も先行自治体の事例等を研究していく。

国は直接影響を受ける制度の趣旨等を十分考慮し、できる限り影響が及ばないよう対応することを基本的な考え方とするとしているので動向を注視していく。

③収集地区割りの見直し等により収入と支出の差はかなり圧縮できる見込みである。戸別収集を家庭ごみ有料化と合わせて行うことでより一層のごみ減量効果が得られ、排出者の明確化によるごみ出しマナー向上や集積所管理にかかわる地域の負担軽減等につながると考えている。

※1、※2、※3 用語の解説については7面をご覧ください。

# 市政を問う 一般質問要旨

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



佐藤 徹議員 (市議会公明党)

### 南西部地域の交通安全対策を問う

質問 ①小平都市計画道路3・3号線と3・4・23号線の丁字路への信号機の設置は必須と考えるが見解は。

②30年1月22日の積雪で市道にも交通障害が生じた。今後市内事業者と雪の除去に向け事前協定を締結すべきだが見解は。

市長 ①交通管理者に信号機の設置を要望し、交通管理者も警視庁本部に上申していると聞いています。今後も交通管理者と交通安全対策の連携を図っていく。②26年度から必要に応じ駅前広場等の除雪作業の一部を市内

業者へ委託している。今後、先進市の事例等も参考に協定締結の必要性について研究していく。

### 市の公会計の整備状況と今後の活用方法について

質問 ①国の定めた統一的な財務書類作成について進捗状況は。

②公共施設マネジメントでの具体的活用方法について見解は。

市長 ①国の要請に基づき平成30年3月末までに全体財務書類を作成し公表する予定である。②老朽化対策の優先順位を検討する際の参考資料として活用できると理解している。他自治体の活用事例の情報収集に努め、引き続き研究していく。

### 高知市 しゃきしゃき百歳体操のパンフレット



いきいき百歳体操を取り入れ健康長寿社会を実現しよう  
小野高一議員 (政和会)

### 高齢者がいくつになっても元気で生活していくために

質問 ①健康長寿社会に向けた今後の施策の考え方は。

②健康インセンティブの活用を検討できないか。

③高知市初め全国的に開催されてきているいきいき百歳体操、しゃきしゃき百歳体操、かみかみ百歳体操の身体機能評価の比較、効果検証において、体力が

ついた等多くの改善が図られたとの結果が得られているが、百歳体操についての見解は。

市長 ①こだいら健康増進プログラムの基本目標である健康寿命の延伸を達成するために、個人の

ライフステージごとに、日常生活の中で健康づくりができるきつかけや環境が提供できるように引き続き努めていく。

②現在、健康習慣を身につけるための健康ポイント事業を検討している。29年度から高齢者のポランテア活動を通じた社会参加、地域貢献及び介護予防

を目的とした活動にポイントを付与し、小平商工会が発行する小平ベリースタンプと交換ができる介護予防ポランテアポイント事業を開始している。

③百歳体操は高齢者が安全に行える体操を住民主体で行う取り組みとして、高齢者の介護予防に効果があると捉えている。



シングルマザー応援は子どもの貧困対策/民間委託のあり方は  
日向美砂子議員 (生活者ネットワーク)

### ひとり親家庭を応援し親も子も幸せな小平を

質問 ①経済支援以外のサービスの効果と課題は。

②子どもや保護者自身の心のケアに関する相談への対応は。

③生活保護基準引き下げによる就学援助の影響への対策は。

市長 ①家事・育児のホームヘルプサービスを提供しているが、利用が減少傾向にあるため、保育施設の送迎を加えるなど充実を図りながら周知に努めていく。

②専門機関の情報提供を行う。信頼関係を築いた母子・父子自立支援員が助言する場合もある。

教育長 ③国から詳細が示され

た時点で、影響が及ばないよう対応していく。

市民本位の行政を実現するための指定管理者制度のあり方とは

質問 ①指定管理事業者で働く人の人件費や雇用継続についてのチェックは行っているか。

②指定管理者制度活用方針改定やガイドライン作成の予定は。

市長 ①人件費の総額は事業報告書の点検時に確認しているが、個人の賃金や雇用継続の確認は行っていない。

②平成31年度に予定している指定管理者制度を導入している施設の効果検証の結果を踏まえ、必要に応じて検討していく。

市の振り込め詐欺対策について

質問 ①振り込め詐欺に対する今後の具体的な対応は。

②振り込め詐欺の抑止や犯人検挙に有効と思われる防犯カメラを道路に設置できないか。

市長 ①定期的に小平警察署等と協力しながら、地域防犯講座等を通じて市民に注意喚起を行うなど、啓発活動に努めていく。

②現時点で設置の予定はない。設置の相談等があった際は、都などの補助金要件である見守り体制の構築等、設置への諸条件が確認された場合、補助金の活用を検討しながら支援していく。



市の振り込め詐欺対策/小学校における教育と指導について  
川里春治議員 (政和会)

### 小学校における教育と指導について

質問 ①入学後、環境になじまない新1年生への対応は。

②低学年の学級でいじめにながらふさげあいなどがあるが、学級内での教師の指導内容は。

教育長 ①入学前の授業体験等の実施のほか、入学後しばらくは登校後等に6年生が1年生の面倒を見るなど安心して学校生活を送れるよう取り組んでいる。

②いじめ防止基本方針等に基づき、いじめを生まない土壌づくりと、いじめは絶対許されな

いという認識のもと組織的に早期発見・対応に取り組んでいる。



切れ目のない医療と介護の連携を/伝統行事とどんど焼き  
虻川 浩議員 (市議会公明党)

### 東京一活力あふれる町こだいらへ、医療と介護の連携を

質問 ①切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制とは何か。

②提供体制構築に必要な取り組みは。また、その立案等は誰がどのような体制で進めるのか。

市長 ①自宅で生活している医療と介護が必要な人が、夜間や容体急変時の対応等においても、適宜、必要な医療と介護の提供が受けられる体制と捉えている。

②地域の状況により必要とされる取り組みは変わってくる。他市等での取り組みも参考にしながら、在宅医療・介護連携推進協議会において課題等を整理

し、対応策の検討を行っていく。伝統行事とどんど焼きについて

質問 どんど焼きに対する市の見解と、どんど焼きの残り火で篠竹の先に刺した団子を焼いて子どもたちに提供する伝統行事が人気だが、篠竹を市の管理竹林等から提供できないか。

市長 神社や青少年対策地区委員会等で行われる地域に残る貴重な伝統行事として親しまれており、地域の人々に守り伝えられていくことは重要であると考え

る。篠竹の提供は、市の管理する竹林は孟宗竹と真竹であり、篠竹がないため提供できない。



市内で行われたとんど焼きの様子



小川駅西口再開発事業と自転車駐留場／新堀用水の流水維持を

宮寺賢一議員(政和会)

小川駅西口再開発事業に伴う駐留場のうち、再開発事業区域に含まれる影響を受けるとみられる箇所と収容台数は。

②東村山駅では交通広場地下に自転車駐留場が設置されているが、小川駅西口には新たな自転車駐留場整備を考えているか。

①民営及び市が管理する自転車駐留場を合わせて8か所、収容台数約1千台である。

②新たに整備される駅前広場を立体利用し、駅へのアクセスがよい地下自転車駐留場も選択肢の1つと考えている。

①改修工事中、流水をためる時期と日数は。

②新堀用水を長期間とめると、魚や水中小動物が一旦絶滅する可能性が高く、護岸崩落も予想されることから工事期間中も流水維持が必要だが、長期間とめなくてはならない理由は。

①仮設作業等終了後、おむね3か月間を想定している。

②胎内掘内部の補強工事には大きな重機の使用が困難で、人力で作業せざるを得ず、狭い空間の中で流水をとめずに作業を行うことは極めて困難である。



改修工事が予定されている新堀用水



地域防災力の向上／この地域で心豊かに暮らし続けるために

津本裕子議員(市議会公明党)

①都では防災ウーマンセミナーなどを実施しているが、市の検討状況は。

②東京防災、東京くらし防災などもテキストとして防災コーデイネーターを認定し防災活動の人材育成をすべきではないか。

①地域防災フォーラム・男女共同参画講演会で女性視点の必要性等を多くの受講者に理解してもらったと認識している。

②多様なニーズに配慮した避難所運営が必要である。平時の備えとして女性コーデイネーター育成は重要と認識しており都

の研修会を参考に研究していく。この地域で心豊かに暮らし続けるために



3世代同居及び近居支援で顔の見えるまちづくりを

中江みわ議員(フォーラム小平)

3世代同居及び近居支援を行うべきだが見解は。

①市が行う総合防災訓練への中学生の参加状況は。また、生徒に参加を促しているか。

②自治会で行う防災訓練への小・中学生等の参加状況は。

③ジュニア防災検定の導入や検定料の一部補助への見解は。

④小平消防少年団に市として



小平元気村おがわ東の活用と一橋大学周辺の安全対策について

幸田昌之議員(市議会公明党)

①元気村での事業を小川駅や小平駅の再開発ビル等へ移転する検討はしているか。

②元気村の敷地を学校給食センターの移転先や設置検討中の発達支援センターなどの敷地として活用する検討はなかつたか。

①公共施設マネジメントの視点を踏まえ、市街地再開発事業の進捗に応じて検討する。

②給食センターは建築基準法上、工業地域等でない場所には原則建設できない。

②指導訓練室や遊戯室など児童発達支援センターに必要な



最後のセーフティネットが生活保護

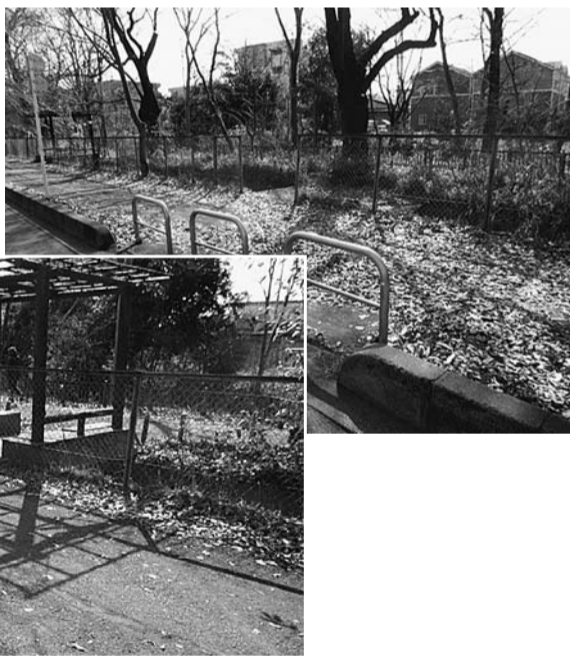
吉瀬恵美子議員(日本共産党小平市議団)

①生活保護の主な相談内容の3年間の推移とその傾向は。

②10月から最大5%生活扶助費を引き下げる国の方針をどのように受けとめ対応していくか。

③国の方針は、小平市で生活保護を受けている人々にとどのような影響を与えることになるか。

①26年度から28年度で、傷病・障害による生活困窮の相談件数は190件、175件、153件。高齢による生活困窮の相談件数は148件、156件、147件。失業と就労収入減額による生活困窮の相談件数は104件、102件、85件。これ



歩道空間としての整備が予定されている一ツ橋大南通りの新堀用水と車道との間のエリア



市民力で積雪を乗り越えよう／障害者差別のない社会へ

伊藤 央議員(ムサシ)

①高齢者のみの世帯に積雪が与える影響は。

②市民一斉除雪デーを実施してはどうか。

③除雪ボランティアの募集、活用を実施してはどうか。

④中学生、大学生による除雪活動を行ってはどうか。

①一般世帯より雪かきが難しく、外出困難となる等の影響があると捉えている。



高齢者に安心の暮らしを／保育園と学童保育の質の確保を

木村まゆみ議員(日本共産党小平市議団)

地域包括ケアシステムで高齢者の安心は守られるか

質問 ①買い物、移動、預貯金管理などの事業化の検討状況は。

②現在把握している見守りの必要な高齢者は何人か。

③特養などの待機者は何人か。

市長 ①生活支援コーディネーターの活動を通してニーズとのマッチングの中で検討していく。

②29年12月末で27人である。

③29年6月末で特養367人、グループホーム31人である。

保育、学童保育はガイドラインの策定で質の確保を

質問 ①保育園の質の確保には

再び子どもの権利を保障するため担保されるべき保育について

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

再び子どもの権利を保障するため担保されるべき保育について

質問 ①30年度の保育園入園希望者の申し込み状況は。

②就学前の子どもの育ちに関する理念はどこに示されているか。

③市立保育園の保育理念、目標はどこに示してあるか。

④子どもが最もよく生きるために市として行っていることは。

また、子どもの意向を把握するために何を行っているか。

⑤市立、私立保育園の情報交換の場で話し合われることは。

市長 ①一次受け付けでは前年比149人減であり、過去5年間の



プレーパーク／たかの街道の整備／生活保護世帯への市の支援

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

全く使われていないプレーパークと言われる場所の活用は

質問 ①小平市にプレーパークはあるのか。

②どうアナウンスしているか。

③プレーパークに人を配置するという公約の取り組みは。

市長 ①中央公園ときつねばら公園にエリアがある。

②広報はしていない。

③人員配置は難しいと考える。

幅員28mの都市計画道路ではなく、たかの街道の整備を

質問 ①都市計画道路3・3・3号線の優先整備路線部分の整備状況は。

生活保護基準引き下げに對する市独自の支援策を

質問 ①生活保護を受けず生活保護基準以下で暮らす世帯数は。

②基準引き下げによる影響を最小限にする市の支援策は。

市長 ①推計で約5千世帯。

②国の動向を注視していく。



暮らしやすいまちづくり／たかの台地域周辺の安全対策

山岸真知子議員(市議会公明党)

高齢になっても認知症になっても暮らしやすいまちづくり

質問 ①横浜市瀬谷区のかかりつけ医と認知症専門医が連携する仕組みは有効だが見解は。

②ひとり暮らし高齢者等の的確な実情把握のため、地域包括支援センター、民生委員等の連携で訪問活動を実施できないか。

市長 ①国立精神・神経医療研究センター病院を中心にネットワーク構築等に取り組んでいく。

②生活状況アンケート等により実態把握に努めているが、今後見守り体制の一層の充実に向け、地域包括ケアシステム構築の取り組みの中で研究していく。

たかの台地域周辺の安全対策について

質問 ①たかの街道と水車通りの交差点における通学時見守りの検討状況は。

②青梅街道歩道にガードパイプ未設置の部分がある。都に設置を要望すべきと考えるが見解は。

教育長 ①現在、小学校通学路の安全見守りボランティアの募集に向け準備を行っており、地域の協力を得たいと考える。

市長 ②未設置場所は狭い場所が多く、歩行者等のすれ違いに影響が出るため設置していないと聞いている。今後も安全状況に注意し都に要望していく。



ジェンダー視点からのメディアリテラシー／香りの害

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

ジェンダーの視点からメディアリテラシーを考える

質問 ①市の公的広報のガイドラインの中に女性を性的対象物としないという項目はあるか。

②このガイドラインを使い職員に対し研修、意識啓発を行っているか。

③子どもに影響のある、性を商品化した有害図書への対策は。

市長 ①「男女平等差別用語の観点から広報紙パンフレットなどを作成するときの視点」の中に女性をむやみにアイキャッチャーにしないという視点がある。

②必要なときに活用できるようにしており、市報等の作成研究

修等を通じ周知している。教育長 ③都の条例で、青少年の健全な成長を阻害するおそれがある図書類を不健全図書に指定し規制できるとされている。

香りがもたらす害、香害の健康被害について

質問 ①香害を認識しているか。

②香害について情報提供や啓発活動を行っている予定は。

市長 ①洗濯洗剤や柔軟剤等が含む香料や香り成分等の化学物質が原因で不快感や健康被害を受ける香りの害と認識している。

②国や東京都などの関係機関より情報収集するとともに情報提供、周知、啓発を検討する。



太陽光発電日本一小平を目指しさらに一歩工夫して前に進もう

永田政弘議員(政和会)

太陽光発電日本一小平を目指しさらに一歩工夫して前に進もう

質問 ①太陽光発電設備の設置による投資額経費と売電額は。

②売電収益を安心・安全のまちづくりや環境保全事業を通じ、市民に還元し役立てられないか。

③公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の導入や、包括的施設リース契約による太陽光発電事業を考えると見解は。

市長 ①把握できた概算値で13年度から28年度までの累計32施設の総設置費用は5億6千8万9千698円、市負担額は1億9千2百80万9百33円、売電額は4百92万8千6百69円である。

②太陽光設備の設置に当たり、設置施設での自家消費を前提としてきた。売電収益は設置施設での維持管理費用に充当することで、施設を利用する市民に還元できていると認識している。

③公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の導入は、都のガイドラインによると契約期間20年以上が前提で、課題がある。包括的施設リース契約は、リース料支払いを売電額で賄うことが前提で、初期投資が多額のメガソーラーなどに適したものである。太陽光発電設備の設置は、引き続き国や都の補助金等を活用し、先行自治体の事例等も視野に入れながら研究していく。



職員の地域力を高める参画、貢献とは／まちづくりの諸課題

磯山 亮議員(政和会)

職員の地域力を高める参画、貢献とは／まちづくりの諸課題

質問 ①職員の市内在住率は。

②職員が勤務時間外に地域活動に参画等することが、地域を支えるために必要だが見解は。

③神戸市等で採用している地域貢献度制度導入への見解は。

市長 ①平成29年4月1日現在、36・6%である。

②多くの市民が地域活動に参画してもらうことは重要であり、その中で職員が参画等することは、自己啓発にもなると思われる。

③同制度は地方公務員法第38条を緩やかに運用した例で、現状でも規定の範囲内で地域貢献

は可能と考えている。

花小金井駅周辺地区を初めとするまちづくりの諸課題について

質問 ①幹線道路の歩道の電柱は歩行者の通行を阻害しており、無電柱化が必要だが見解は。

②花小金井南中学校地域開放型体育館の現状は。

市長 ①無電柱化は安全な交通の確保等に有効だと認識している。今後も事業経験を重ね、無電柱化のあり方を研究していく。

教育長 ②多目的室を武道場に隣接させ一体利用を可能としたほか談話スペースを個室化するなどレイアウト変更等を行った。現在は実施設計を行っている。



きつねばら公園のプレーパークエリア



### 小1プロブレムや残雪への対応について教育委員会に問う

小林洋子議員 (フォーラム小平)

小1プロブレム解消に向けた取り組みについて  
小・中学校における残雪への対応について

質問 ①小学校教員は幼稚園・保育園・認定こども園などの交流、情報交換を行っているか。  
②小1プロブレム解消のため現在行っている対策と課題は。

教育長 ①連絡会の開催等により交流や情報交換等行っている。  
②就学前にこげら就学支援シートを配付し、配慮が必要なことを記入してもらうなどしている。課題は保護者への理解・啓発の促進である。支援が必要な子どもについてより多くの情報が学校に引き継がれるよう取り組むことなどが必要と考える。

質問 ①残雪の影響で校庭を使用中止にしていた期間は。②残雪がある間、児童・生徒にどのような指導があったか。③地域や保護者に除雪などを依頼した学校はあったか。  
教育長 ①長かった学校で1月22日から2月9日までの19日間。  
②衣服や靴の汚れ、けがのおそれなどがあることから、校庭の特になるみのある場所には立ち入らないよう指導した。  
③複数校で保護者、スポーツ団体の人等に校庭等の雪かきに協力してもらったと聞いている。

### 積雪時の対応と除雪作業

吉本ゆうすけ議員 (フォーラム小平)

再び積雪時の対応と除雪作業について

質問 ①30年1月の降雪で市民からの連絡で個別対応した件数は。またどのように対応したか。  
②戸建て住宅に面していない道路の除雪状況の把握は。また、除雪されていない場所の対応は。

③市は除雪作業の一部を民間へ業務委託しているが、今回はどの範囲で依頼し、依頼分は全て引き受けてもらえたか。現在業務委託している事業者の数と確保できる人員は。

市長 ①道路の除雪及び凍結路面の排除に関する要望が44件、道路脇に積み上げられた雪の通行障害解消に対する要望が1件、集水ますの詰まりによる道路冠水対応に関する要望が1件あり、職員が現地確認し、必要に応じ雪かき等を行った。  
②主要道路とその近隣の道路の状況を把握している。寄せられた情報を精査し優先順位を定め順次除雪作業を行っている。  
③花小金井駅南口及び北口の駅前広場で、歩道部分の通路を確保するための除雪作業を依頼し引き受けてもらった。業務委託は降雪量等に応じ要否を決定しており、特定の事業者を定めしているものではない。作業に要する人員数も対応可能な事業者と調整の上決定している。

▼市内の雪かきの様子



### 中学校標準服の価格の公開／学童クラブのあり方／保育行政

竹井ようこ議員 (フォーラム小平)

中学校標準服の価格の公開について

質問 ①各中学校の標準服はどのように決定されているのか。  
②標準服の価格が最も高い学校と安い学校の価格差は。  
③標準服の価格をホームページで公開すれば入学や転入の前準備できるがどう考えるか。

教育長 ①保護者や地域の人等の意見を踏まえ校長が決定する。  
②男子で1万7千6百円。女子で1万3千8百16円である。  
③入学時に必要な費用を事前に知らせることは大切と考える。

この公開は学校と調整し検討する。これからの学童クラブのあり方について  
質問 ①定員を21人以上超過している学童クラブは。  
②学童クラブのニーズへの見解と充足させるための考え方は。  
③再開発について周辺住民等からはどのような意見があるか。  
市長 ①6クラブ。うち1クラブは2年以上継続して超過。  
②登録児童数は増加傾向だが、各クラブは年度ごと増減の幅があり予測が難しい。超過人数を注視し待機児童を出さないことを最優先に施設整備等に努める。  
【掲載分以外の質問項目】  
働きたい人を最大限に応援する保育行政を



### 精神障がい者の地域生活を支援／子どもたちを豊かに育て

平野ひろみ議員 (生活者ネットワーク)

精神障がい者の地域生活を支援するために  
質問 ①小・中学校で心の病や精神疾患についての学びの時間と教員研修はあるか。  
②本人の意向に寄り添う医療と生活支援の両立を目指すアウトリーチ支援体制の構築に向けて、どう進めるか。

教育長 ①小学5年生の体育の保健領域で年間4時間程度、中学1年生の保健体育で心の発達と心の健康の学びがある。教員研修は平成25年度から毎年7月にメンタルヘルス研修、8月に教育相談の手法に関する研修を実施している。

市長 ②保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置を目標に、精神障害者アウトリーチ支援事業の体制等を検討していく。すべての子どもたちを豊かに育てるために  
質問 教育振興基本計画にある「個に応じた」支援は、一人一人の個性を大事にし、障害のあるなしにかかわらずともに学ぶインクルージョン教育の実現と考えるが、見解は。  
教育長 障害の有無にかかわらずニーズに応じた適切な支援を一貫して行うことが重要と捉え、ともに学ぶという趣旨を踏まえ、た就学支援に取り組んでいく。



### 小平駅北口地区再開発と周辺のまちづくり／まちづくり協議会

佐藤 充議員 (日本共産党小平市議団)

小平駅北口地区再開発事業と周辺のまちづくりについて  
質問 ①準備組合の組織状況は約61%とのことだがどう評価しているか。また未加入の理由は。  
②再開発について周辺住民等からはどのような意見があるか。

市長 ①設立当初の約78%に比べて低く、今後も未加入者への丁寧な説明が必要と考える。未加入の理由は現状からの変化等に対する不安、都市計画道路のみの早期整備を望むなどがある。  
②駅前への不便さの解消や商業施設の導入、駅前の活性化等、期待する意見をもらっている一方、再開発事業に不安を持つ人がいることも認識している。

地域のまちづくり協議会の立ち上げを  
質問 ①都市計画道路建設の住民説明会から着工までの期間は。②地域まちづくり協議会を制度としてつくるべきか。  
市長 ①事業規模等の状況によるが、説明会開催から事業認可取得までは約1年から2年、事業認可取得から工事着手までは約4年から5年を要している。  
②小平市民等提案型まちづくり条例を制定しており、その中で地区まちづくり協議会等の仕組みを設け、設立に向けた活動費助成等を行う制度がある。



### 自衛隊機の墜落事故／小川駅再開発／(仮称)公契約条例

細谷 正議員 (日本共産党小平市議団)

自衛隊機の墜落事故を受け市民を守る取り組みについて  
質問 小平市と周辺市の上空または低空を飛行する自衛隊機がどの程度飛行しているかを把握しているか。また、他市との情報共有は行っているか。  
市長 日々の詳細な飛行状況は把握していない。12市及び陸上自衛隊等の防災機関による立川飛行場環境対策会議において、おおむねの離着陸回数報告を受けている。なお、佐賀県神埼市の事故を受け立川飛行場周辺自治体連絡会は、2月16日付けで陸上自衛隊等に対し事故防止にかかる口頭要請を行っている。

小川駅西口地区まちづくりの状況について  
質問 小川駅西口地区市街地再開発事業に関して、駅利用者や視覚障害者等の意見を取り入れる必要があると思うが市の見解はどうか。  
市長 都市計画決定後の具体的な施設等が検討される中で、駅利用者や視覚障害者等から改めて意見を聞く場を設けられるよう、再開発準備組合に働きかけていく。

【掲載分以外の質問項目】  
○(仮称)公契約条例の制定について 外  
事業の廃止を条件とすることで費用等の膨張を抑制する手法のこと。  
※3 マイナスシリングとは 予算の概算要求に当たって、前年度より一定率を減じたものを要求限度とすること。  
※4 アウトリーチ支援とは 医師や福祉関係者が、保健所等と連携して訪問による積極的な支援を行い、精神障害者等の地域生活の安定化を目指すこと。

### 用語の解説

※1 2025年問題とは 日本が2025年頃に本格的に直面する超高齢社会の問題。戦後のいわゆるベビーブームに生まれた世代が後期高齢者の年齢に達する年であるとされている。  
※2 スクラップアンドビルドとは 組織の新設や新規事業の執行に当たって、同等の組織や

### 市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内でもなたでも傍聴できます。希望される方は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受け

3月定例会

議案に対する各議員の賛否

会派名略称 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(6) 政和：政和会(5) 共産：日本共産党小平市議団(4) 生ネ：生活者ネットワーク(4)
( )内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら(1...無党派) ムサ：ムサシ(1...無党派)

Table with columns for district, proposal number, title, result, and individual votes for each party/representative.

全会一致で議決した議案※

Table listing proposals decided unanimously, including '筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書' and various budget amendments.

※議長は表決に加わりません。

意見書

3月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関する事について議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(以下「ME/CFS」という。)は健康に生活していた人が、ある日突然原因不明の激しい倦怠感に襲われ、それ以降、強度の疲労感とともに、微熱や頭痛、筋肉痛、脱力感や、思考力の障害、抑鬱等の精神神経症状などが長期にわたり続くため、健全な社会生活が送れなくなるという疾患です。患者数は人口の0.1%と推定され、その半数は治療を受けても回復が見られず、4分の1近くが通常の社会生活や軽労働が不可能という深刻な実態があります。
こうした中、国立研究開発法人日本医療研究開発機構研究班により、平成28年に臨床診断基準案が示されるなど病因・病態の解明や治療法の開発が行われていますが、いまだ病因が特定されず治療法も確立されていないため、患者は有効な治療を受けられない状況です。
また、診断がついた後でも、病名によりただの疲労との誤解や詐病の扱いを受けるなど、患者の多くは社会からの偏見や理解不足に苦しんでいます。
さらに、指定医師の当該疾病への理解不十分等により障害認定を受けられないことや、診断基準が明確でない等の理由から、難病指定がされていないため、必要な医療費助成、福祉サービスや就労支援を受けられない患者が多いのが現状です。
加えて、若年者では学校生活を送ることが困難となり、教育を受けることが制限されてしまふ場合もあることから、教職員への病態・症状の周知、学習環境の整備など学校における適切な配慮が必要です。
よって、本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、ME/CFS患者の支援のため、以下の事項について取り組むよう強く要望いたします。
1 ME/CFSの病因・病態を解明し、診断基準及び治療法の確立のための研究を一層推進すること。
2 ME/CFSの実態を医療・福祉・教育関係者や国民に周知するとともに、全国どこでも患者が診療を受けられる環境を整えること。
3 日常生活や社会生活上制限があり、支援の必要が認められる患者の実態に即した福祉サービスや就労支援制度の整備を検討すること。
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣あて

議会日誌

1月17日~4月17日

本会議、委員会、諸会議など

Calendar of council meetings and committee sessions from January to April.

議場見学

《小学3年生》
○1月25日 十五小66人
○2月1日 四小77人

あとがき

3月定例会では、各会派から代表質問などが行われました。今後も、わかりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。
お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。
〒187-18701小平市小川町二丁目187-1 1333番地

FAX 042(346)9567
042(346)9566